### ◆ご寄付手続きのご案内

### お申込みについて

金額にかかわらずありがたくお受けいたしますが、個人様には一口5,000円を複数口お願いできれば幸いです。 なお、一口未満でもありがたくお受けいたします。お払込みは以下の方法からお選びいただけます。

### 銀行·郵便局

- 所定の払込取扱票をご利用のうえ、お払込みください。指定銀行窓口(西日本シティ銀行 または福岡銀行、郵便局(ゆうちょ銀行))での所定の払込取扱票によるお払込みの場合 は手数料は無料となります。
- ATM、インターネットバンキングなどでのお払込みは、お名前、お振込金額のみの情報となり、 お礼状、領収書等をお届けすることができませんので、お控えくださいますようお願いいたします。
- 払込取扱票の右端の「振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)」は、 確定申告用の領収書としてお手元に保管してください。

### クレジットカード

● クレジットカードでのご寄付については、募金用ホームページからお申し込みください。

### ■お礼状と寄付金控除のための書類の送付

ご寄付が本学院に入金されましたら、お礼状と寄付金控除の ための① 「寄付金領収書」② 「特定公益増進法人であること の証明書(写)」③「税額控除に係る証明書(写)」をお送り いたします。

### ■確定申告での税制上の優遇措置

上記の書類を添えて確定申告を行ってください。下に記載して おります減免税措置が受けられます。

### ■寄付金に対する減免税措置

この寄付金については、減免税の措置を受けることができます。減免税措置の詳細については募金用ホームページをご参照ください。 税法上の優遇措置

確定申告の際、「税額控除制度」または「所得控除制度」の2つの制度から免税効果の高い一方の制度を選択し、税の還付を受けることができます。

### ▶ 税額控除制度

寄付金額から2千円(税額控除額)を差し引いた額の40%が、税額控 除対象額となります。寄付金額を基礎に算出した控除額を、税率に関 係なく、税額から直接控除するため、小口寄付の減税効果が高くなるの

### (寄付金額 n − 2千円)×40% = 減税額 2

- ① 寄付金額は総所得金額などの40%までが税額控除対象
- ② 減税額は所得税額の25%を限度

### ▶ 所得控除制度

寄付金額から2千円を差し引いた金額が所得金額から控除できる制度。 所得控除後、所得金額に応じた税率を掛けて税額を算出。所得控除を 行った後に税率を掛けるため、所得税率が高い高所得者の減税効果 が高いのが特徴です。

### (寄付金額 n - 2千円)×所得税率 2 = 減税額

- ① 寄付金額は総所得金額などの40%までが税額控除対象
- ② 所得税率は課税される年間所得金額に応じて5%~40%の段階

### 

### お申込みについて

金額にかかわらずありがたくお受けいたしますが、法人様には一口50,000円を複数口お願いできれば幸いです。 なお、一口未満でもありがたくお受けいたします。

### 寄付金に対する減免税措置

法人税の減免が受けられます。寄付金に対する損金算入等の措置に関する手続きには次の二通りがあります。 いずれもご寄付された金額が、その事業年度の損金に算入されます。

### ▶ 受配者指定寄付金

(全額が損金に算入される寄付金)

受配者指定寄付金とは、日本私立学校振興・共済事業団(以下「私学 事業団」)を通じて法人様が指定した学校法人へ寄付をしていただく 制度です。決算時に寄付金の全額を損金に算入することができます。 私学事業団に対する諸手続きおよび損金算入に必要な私学事業団発 行の「寄付金受領書」の発行などは本学院を経由して行います。

### ▶ 特定寄付金

(損金算入限度額以内で私学事業団を通さない場合の寄付金)

この寄付金は、一般寄付金の損金算入限度額の別枠として損金に 算入されます。損金算入に必要な本学院発行の「寄付金受領書」と 「特定公益増進法人であることの証明書(写)」は、ご入金が確認でき次第 お送りします。

### 募金に関するお問い合わせ先

学校法人西南学院 総合企画部 広報·校友課 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 TEL 092-823-3248 FAX 092-823-3249 E-mail koyu@seinan-gu.ac.jp

### 募金用ホームページ

http://www.seinan-gakuin.ip/supporters/

取り扱いに 西南学院 募金

募金にご協力いただきました皆様の個人情報は 個人情報の 募金事業に係る業務のために使用いたします。 個人情報は西南学院個人情報保護規程に基づき、

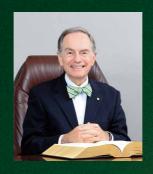
# % 西南学院大学

# 西南学院大学

西南よ、キリストに忠実なれ



### ご挨拶



学長 G.W.バークレー

西南学院大学は前身となる旧制高等学部が1921(大正10)年に開設され、1949(昭和24)年に新制大学としての歴史を歩み出しました。本学では、創立者の遺訓である「西南よ、キリストに忠実なれ(Seinan,Be True to Christ)」を建学の精神とし、キリスト教主義に基づく教育を基盤として、世界に貢献する人材の育成に努めてまいりました。これもひとえに、皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

さて、本学では学院創立100周年を機に様々な計画を実行しているところです。それらの取り組みの一つとして、是非皆様にも「サポーター」として、大学の教育・研究活動及び学生の学びや課外活動をお支えいただければと思い、2018年(平成30)年4月から「西南学院大学サポーターズ募金」を創設いたしました。

この募金においては、「大学給付奨学金」「教育・研究活動支援」「スポーツ・文化活動支援」「グローバル人材育成支援」「ボランティア活動支援」という5つの項目から皆様のご希望の使途を選択し、お気持ちに沿った支援が出来るようになっております。厳しい経済環境の折、大変恐縮ではございますが、学生の活動に対しご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ・西南学院の使命・

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

### ご寄付者への感謝・顕彰

### ■寄付者銘板設置



西南学院百年館(松緑館)内の銘板 にご芳名を刻銘し、末永く顕彰させて いただきます。(個人5万円以上、団体 10万円以上、法人50万円以上のご寄 付をいただいた方対象)

### ■高額寄付者への名誉称号贈呈

個人としての寄付金累計額(創立100周年記念募金も含む)が100万円以上の方については「名誉賛助員」の名誉称号を贈呈し、学院の諸行事、学院主催のイベントなどへご招待いたします。このほか、西南学院大学図書館本館を利用できる「図書館特別優待者」資格を贈呈します。

### ■芳名帳作成

寄付者芳名帳を作成し、ご寄付いただいた全ての方のお名前または法人名と 代表者名および寄付額を掲載させていただきます。ただし、公表を希望されない 方については掲載いたしません。

### ■募金用ホームページなどでの報告

お名前または法人名等を募金用ホームページなどでご報告させていただきます。

### ■礼状および記念品贈呈

ご寄付をいただいた全ての方に記念品を贈呈いたします。

### 募金名称 について

# 西南学院大学サポーターズ募金

恒常的募金事業の開始にあたり、名称を公募しました。その中で、「寄付者の皆様が西南学院大学のサポーターとして、大学を応援し、学生のサポートをしていただく」という意味を込めて、「西南学院大学サポーターズ募金」という名称に決定いたしました。西南学院に関わる多くの皆様に、サポーターとしてご協力賜れば幸いです。

# 使途指定型

大学給付奨学金

教育·研究活動

スポーツ・文化活動 O

グローバル人材

ボランティア活動

西南学院大学サポーターズ募金では、 寄付者のご意向にそった目的に使用 するために使途をお選びいただけます。 皆さまのお気持ちが本学の様々な活 動の大きな支えとなりますので、ご協力 をお願いいたします。



# 大学給付奨学金

大学給付奨学金制度は、家庭の経済的理由により修学 継続が困難な学生に対して、一定の金額を給付すること によって、修学を支援し勉学に専念できる環境を整えるこ とを目的として設けられた制度です。

大学給付奨学金制度には、学業成績、課外活動 等において特に優れた成果をもつ学生の修学 継続を目的とした「西南学院大学給付奨学金」 制度と、主に家計が急変した学生を対象とした 「西南学院大学緊急支援特別奨学金」制度等 があります。

採用者数 年度 2013 342 118 34.5% 2014 362 118 32.6% 2015 362 123 34.0% 2016 404 121 30.0% 2017 291 115 39.5% 平均 352 119 34.1%

▶学内関係奨学金制度の応募者数及び採用者数

一人でも多くの学生が、経済的事由 によって除籍になったり、退学する ことがないように、また経済的事情を 気にすることなく勉学に勤しむことが できるように、ご支援ください。

教育·研究活動支援 西南学院大学の教育・研究活動のために用います。

## ≫ 教育支援プログラム(A)(B)

本学には、教育に関する特色あるプロジェクトを支援するための制度があ ります。この制度は、学部(学科・専攻)でのプロジェクトを支援するプログ ラム(A)と、小単位(ゼミ等)でのプロジェクトを支援するプログラム(B)の 2つの枠組みで構成されています。いずれも、先生方がアイディアを出し 合いプロジェクトを構築し、学生に「学びのフィールド」を提供しています。

現在の教育・研究支援の一例をご紹介します。

### 》特色ある学部教育実施経費

大学全体での取り組みとは別に、学部・学科・専攻ごとに独自の教育を 推進するための経費を、各学部等に計上しています。現在、当該経費を用 いて以下のような取り組みが行われています。

### ■学生の学会、学外大会への参加支援

大学の枠を超えた学びの場としての学会や、学習成果を測るためのディベート大会・ 語学コンクール等への、学生の参加を支援しています。

### ■グローバル教育支援

全学部共通の海外派遣留学制度とは別に学部の専門と関連した海外研究、語学研 修などへの派遣を行っています。

### ■キャリア形成支援

企業とタイアップしキャリア形成を目的とした学内講座を実施しています。(銀行、百 貨店、新聞社等)

### ■国家資格等取得支援

教員免許、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認会計士など国家資格の取得に 対し、課外講座などを開講し支援しています。

## 2018年度プログラム一覧

「異文化に触れ、宗教と平和について学ぶ研修プロジェクト」

### 文学部英文学科

「G・B・ショー作『ピグマリオン』の公演と学術イベントの開催」

### 文学部外国語学科英語専攻

「英語コミュニケーション研修

### 文学部外国語学科フランス語専攻

「p.Communiquons, ペ・コミュニコン」

### 商学部

「短期語学研修(韓国)プログラム」 「海外インターンシップ」

「都市観光資源・産業観光資源の臨検に基づく観光振興策の考察」

### 経済学部

「学部1年生のための基礎学力向上プログラム」 「国際ボランティア経験を通じたキャリア開発プログラム」

「進路を見すえた学修支援体制の構築」

●学修支援型SA·TA ②「ことばの力」養成講座

❸インターナショナル・サービス・ラーニング(ISL) ④オンライン英会話等

### 人間科学部

「取組-A-地域連携型学習プログラムの開発・導入の推進」

- 西南オラトリオ・アカデミー ② チルドレンズ・ミュージアム
- ❸ 九州学生心理学会

「取組-B—国際貢献(交流)型学習プログラムの開発・導入の推進」

- カンボジア運動会 ② ベルリン芸術教育交流
- 3 東アジア保育・教育交流 4 社会福祉海外実習

### 人間科学部心理学科

「WHO版PFA研修を軸とした災害ストレスと心のケア教育の展開」

### 国際文化学部

「戦争をフィールドワークする(その2) -アジア太平洋戦争が残したものを通して「平和」について考える-」







スポーツ・文化活動支援

学生の課外活動(体育会、学術文化会、応援指導部、その他 公認団体、宗教部グループ活動)の活動のために用います。 ご希望のクラブ等を指定することができます。(※愛好会は 対象外となります。)クラブの一覧については、西南学院大学 ホームページをご覧ください。また、クラブの学生から直接お礼 の連絡を差し上げることがございますので、ご了承ください。





33部 / 約1,240名

>> 応援指導部 3団体 / 95名

32部 / 約1,700名

≫ その他の公認団体 13団体 / 約300名

≫ 宗教部グループ活動 7グループ

# グローバル人材育成支援

学生が海外で活躍できるプログラムのために用います。 本学での取り組みの一例をご紹介します。



▶ 海外派遣 交換留学生 留学生 2018-2019年度

2018-2019年度

▶ 海外からの



\_ キャリアは <sub>-</sub> 海を越えて ヨーロッパ国際機関研修

フランス・パリにあるOECD (経済協力開発機構)、UNESCO (国際 連合教育科学文化機関) 及びベルギー・ブリュッセルにあるEU (欧州 連合)を訪問して、各機関の概要に関する調査や邦人職員への聞き取 り調査を行います。また、傍聴可能な国際会議が開催されている場合

は見学します。海外の国際機関で 活躍する邦人職員の生の声を聞き、 国際機関の現場を知ることで、授 業で習得してきた専門分野の知識・ 技能を深めると同時に、さらにグロー バルな視点で物事を考える能力を 育成します。



ツーリズム産業研修 海外ツーリズム産業を体感する

約1週間の日程で、シンガポールにて旅行・航空・ホテル業界の視察を行い、ツー リズム産業の海外業務とホスピタリティについて学びます。政府観光局では英 語で講義を受講し、本場の観光業に触れることができます。また、ツーリズム

事に関する考え方について視野を広げ ます。最終日には、JTBシンガポール支 店社員向けにグループ・プレゼンテー ションを行い、新規旅行商品などを提 案します。海外での研修をより効果的な ものにするため、出発前に計3回の国 内研修やグループワークを行います。





### ティーチャーアシスタント研修 アメリカの小学校で授業運営や教育事情を学ぶ

このプログラムは、アメリカの学校で3週間、教師の指導のもと、授業中 の生徒のサポート、質問への回答、テストの採点、プリント配布及び教材

づくりなどの授業運営を体験するも のです。また、日本を紹介する30分 程度の授業を担当する教師体験も 行います。小学校では、1校につき 5名程度の参加者が割り当てられ、 参加学生はそれぞれの担当教師の もとで授業支援を行います。





海外ボランティア・ワークキャンプ 貧困地域でボランティア活動を体験する

日本・フィリピン国際飢餓対策機構の協力のもとでボランティアワーク を行いながら、同じアジアの中で違う「アジア」を体験し、地元の人た

ちとの交流や貧困地域での活動を 通してボランティアマインドを育成 することを目的としています。具体 的な活動としては、貧困地域で、 地元の子どもたちとの交流や学校 校舎の建築補助、小学校訪問など を行います。



# ボランティア活動支援

学生のボランティア活動の支援のために用います。本学ではボランティア活動を建学の精神の具現化並びに大学の社会 貢献の一つと位置づけ、ボランティアセンターを設置し、様々な取り組みを行っております。



2011年3月11日の震災発生以来、毎年 継続的に岩手県や宮城県の被災地を 訪問し、学生や教職員がボランティア 活動や現地の方々との交流を行ってい

### 7年間(2011年度~2017年度)

■ 延べ派遣者 75チーム 611名

### ≫ 熊本地震ボランティア



の被災地を訪問し、学生や教職員がボ ランティア活動を行っています。福岡県 の他大学の学生たちとも一緒に活動 しています。

### 2年間(2016年度~2017年度)

■ 延べ派遣者 15チーム 170名





2017年7月の豪雨発生以来、九州北部の被災地を学生や教 職員が訪問し、全国の大学生たちと一緒に地域の方々と交流 しながら様々なボランティア活動を行っています。

### 2018年1月末日現在

東峰村ボランティア ■延べ日数:2日 ■延べ人数:11名 うきはベース(1st) ■ 延べ日数:21日 ■ 延べ人数:43名 うきはベース(2nd) ■ 延べ日数:15日 ■ 延べ人数:56名

うきはベース(日帰り) ■ 延べ日数:4日 ■ 延べ人数:135名